

# SMAコネクタ用トルクドライバ

狭ピッチ部でもトルク管理が可能、10年以上のロングセラー



## 特長

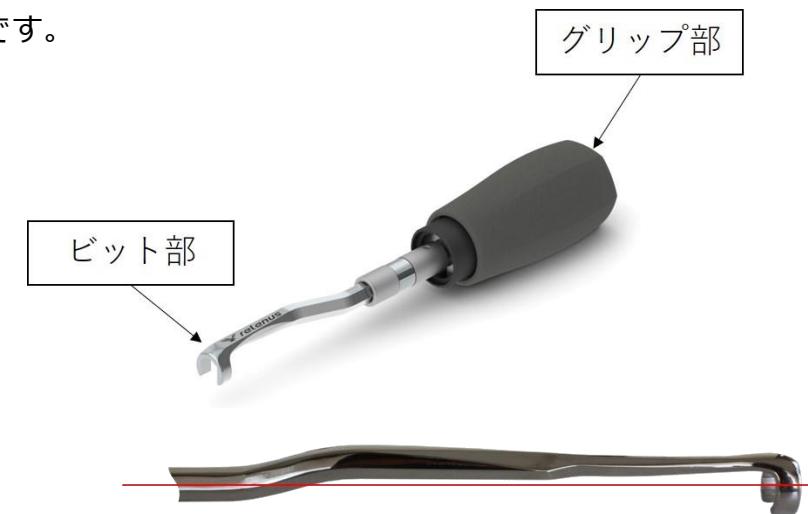
- コネクタへ正面からアクセス
  - ・狙ったコネクタへ正面からいきなりアクセス可能。トルクレンチを使用したコネクタ取付作業と違い、コネクタの左右に大きな空間を作る必要がありません。
- 最狭ピッチ 11mmでコネクタの配置が可能（Aシリーズ及びMS100）
  - ・コネクタを密集させることにより、短配線による性能UPが実現出来ます。



- 作業性良好
  - ・コネクタに30°ごとにかみ合います（Aシリーズ）
  - ・コネクタより太いケーブルでも、コネクタに横からアクセス可能です（Mシリーズ）



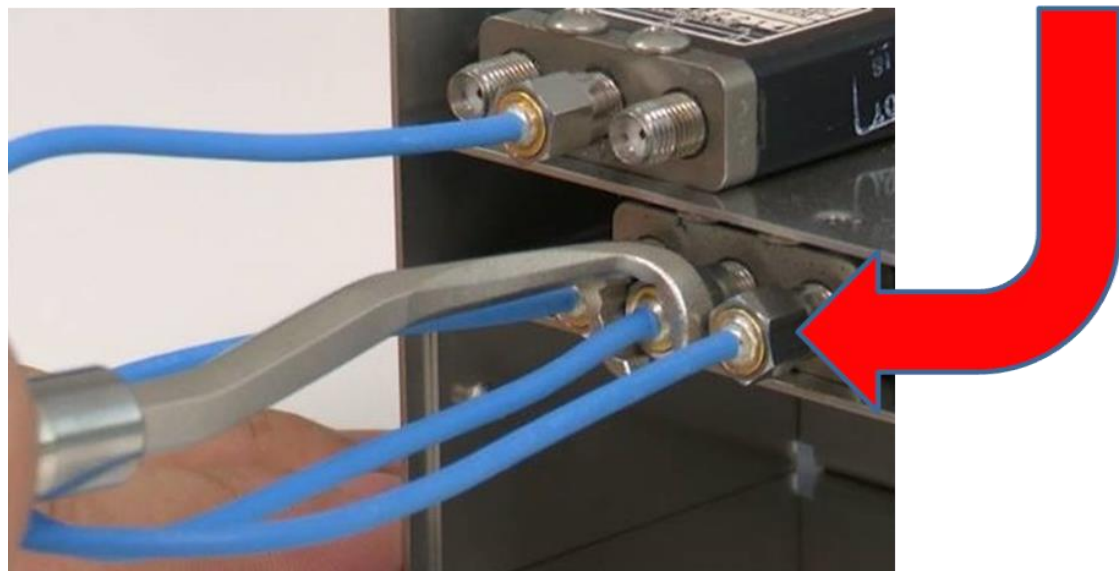
- 優れた耐衝撃性・耐摩耗性
  - ・先端ビット部のメッキは、ニッケルボロンに熱処理を施しHV900以上の硬度があり、耐衝撃性・耐摩耗性に大変優れています。
- トルク精度±3%
  - ・規定トルクに達するとグリップ部が空転し、コネクタの破損や締め付け不足を防ぎます。
  - ・軸の中心が合うように高精度に設計しており、JIS規格で定められたトルク精度±6%より高精度です。



- SMAコネクタ以外にも、取付け部の幅が5/16”(7.94mm)のコネクタに使用可能  
relenus使用可能コネクタ：  
SMA / 3.5mm / 2.92mm（Kコネクタ） / 2.4mm / 1.85mm（Vコネクタ）
- 校正証明書（兼 検査成績書）も添付
  - ・専用のトルクテスターにより検査を行い、校正証明書（兼 検査成績書）を無料で添付して出荷いたします。
  - ・校正依頼も弊社で承っております。

### 使用例(Aシリーズ)

高周波(RF)スイッチのSMAコネクタはピッチが狭く、トルク管理したいのにトルクレンチが入りませんでした。  
 そんな場所に最適なトルクドライバを開発しました。

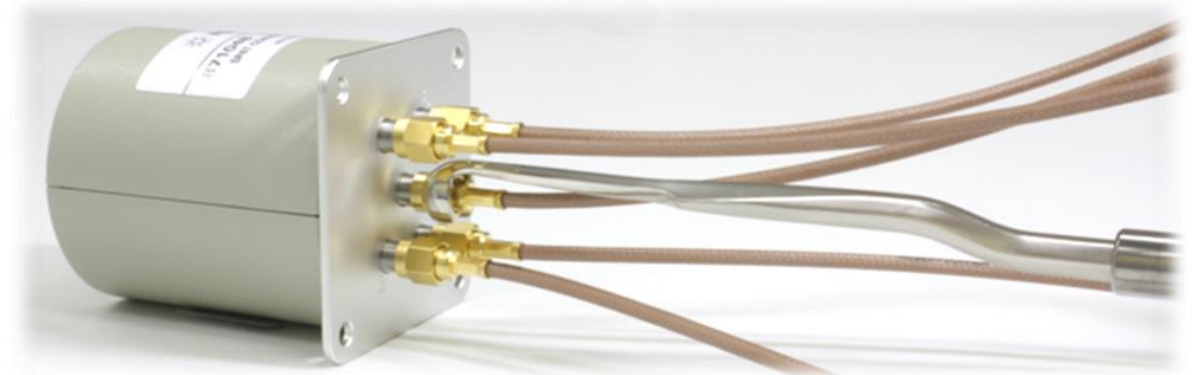


切り欠きのあるヘッド部が、ケーブルをかわしてコネクタのナットにフィットし、スイッチのような狭ピッチ部でも回転可能になります。ナットには30°ごとにかみ合うので作業性が良好です。

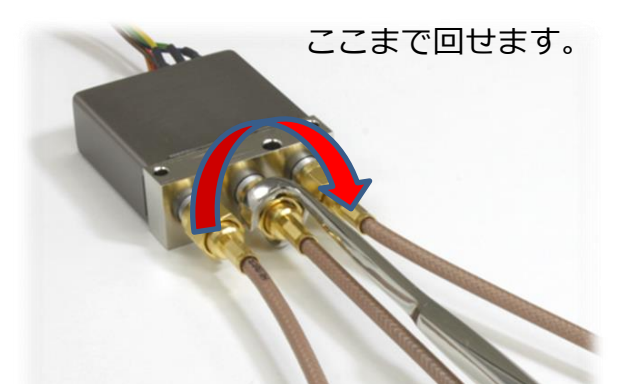
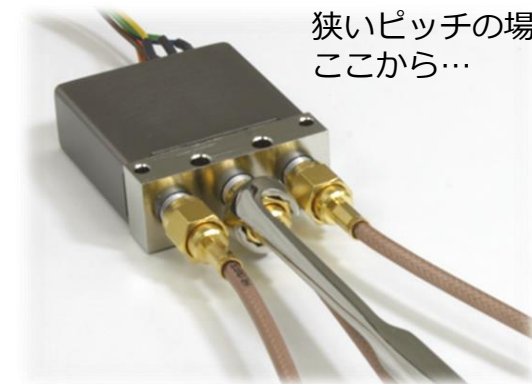


ギリギリまで薄くし  
 となりのコネクタとの干渉  
 を最小限にしました。

Aシリーズ及びMシリーズの使用例は動画でご確認いただけます  
<https://www.youtube.com/watch?v=6oU3pX8Ja5k>

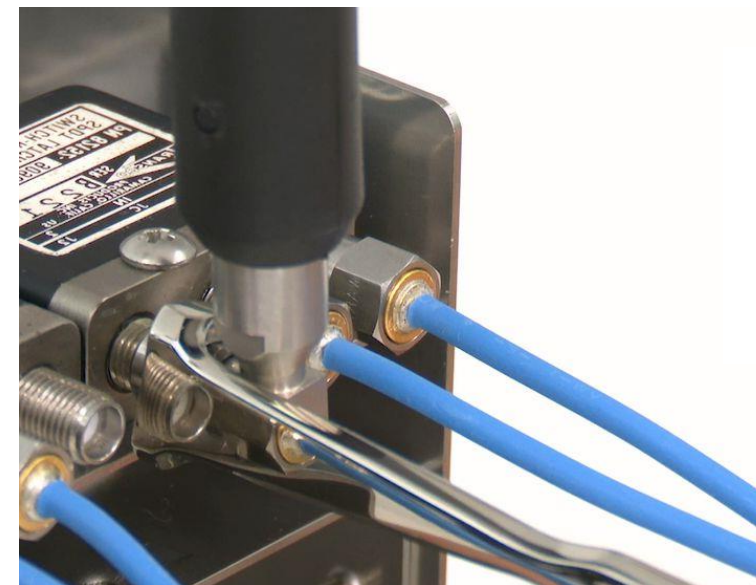


こんな場所のコネクタのトルク管理はどうされていますか？  
 端から順に外して・・・そんな手間から解放されます！  
 コネクタの正面からいきなりアクセス可能です。



### 使用例(Mシリーズ)

コネクタより太いケーブルをお使いの場合は、Mシリーズが最適です。  
 スパナ型の先端形状のため、コネクタに横からアクセス可能です。



Mシリーズ先端形状  
 (KTD-M150\*の例)

## よくあるご質問

### Q 代理店はありますか？

代理店はありません。

御社でお使いの商社経由、または弊社と直接お取引でお願いします。

商社を経由する場合は、エンドユーザーが御社だと伝えるようにご依頼ください。

### Q 最狭ピッチを教えてください。

コネクタの配列によりますが、AシリーズおよびMS100が11mmで、M150が13.5mmです。

ぐるっと一周できない場合もありますが、その際は差し直してお使いいただければ問題ありません。

また、先端の幅はAシリーズおよびMS100が13mm、M150が14mmとなっております。

### Q SMAコネクタに使用します。トルク値は56cNmと90cNmのどちらがいいですか？

SMAコネクタの推奨トルク値は、使用するSMAコネクタの種類によって異なります。

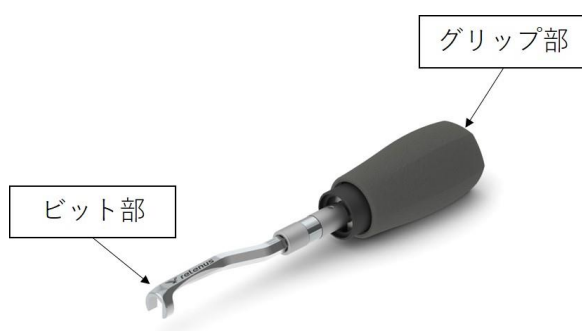
推奨トルク値を確認した上でご選択ください。

### Q ビット（先端）部のみの購入はできますか？

弊社ではビット部とグリップ部のセットで校正し、管理しております。

そのため、ビット部のみの販売はしておりません。

また、先端をギリギリまで薄くしておりますので、お手持ちのトルクドライバと合わせて使用すると破損の恐れがあります。



### Q 対辺8mmの六角ナットの締め付けは可能ですか？

サイズ的には問題ございませんが、SMAコネクタ用となっておりますので耐久性等は保証ができません。

### Q 校正をお願いするにはどうすれば良いでしょうか、また校正周期はどのくらいですか？

校正は弊社で承っております。校正依頼のご連絡をいただきましたら、手順をご案内いたします。

校正周期については規定がございません。ご使用状況を考慮してお客様ご自身に決めていただくようお願いしております。一般的には1年1回の校正が多いようです。

### Q SMAコネクタ以外にも使用できますか？

SMAコネクタと同じ取付け部の幅が5/16”(7.94mm)のコネクタにもご使用いただけます。

relenus使用可能コネクタ：SMA / 3.5mm / 2.92mm (Kコネクタ) / 2.4mm / 1.85mm (Vコネクタ)

TNCコネクタ用のトルクドライバも別途ご用意しております（詳細はP.118）。

### Q 納期はどのくらいかかりますか？

基本的に受注日翌週の水曜日出荷です。

### Q トルク可変タイプのトルク値は、どの範囲で、どのような手順で調整できますか？

最小トルク値20cNm～最大トルク値120cNmの範囲で、ご自身でトルク値を任意の値に変更できます。追加部品の購入や交換は一切不要です。

お使いのコネクタ推奨トルク値が複数ある場合には可変タイプ1本で対応可能です。

#### ～トルク可変タイプのトルク値調整手順～



①ロッカーを回してロックポイントを「FREE」に合わせる

②ローレット部分を押さえながら、グリップを回転

③主目盛と副目盛を合わせる（90cNmの例）

④ロックポイントを「LOCK」に合わせて完了

（より詳細な手順は、製品添付の取扱説明書をご覧ください）

### Q RoHS 対応品ですか？

RoHS対応品です。

### Q JIS規格に準拠した製品ですか？

JISB4652：手動式トルクツールの要求事項及び試験方法に則っています。

出荷試験データとして校正証明書を添付しています。

### 型式一覧

ビット長さ (mm) トルク値 (cNm)	シリーズ			
	A		M	
	100	150	MS100	150
56	○	○	○	○
90	○	○	○	○
100			○	○
可変 (20~120)	○	○	○	○



### 仕様 Aシリーズ

トルクレンチが入らなかったところにもラクラクアクセス。  
 ビット部長さは150mmと100mmの2種類。それぞれ3通りのトルク設定から選べます。  
 ビット先端部はナット部にしっかり嵌合するメガネレンチ型です。  
 グリップ部とのセンターがしっかり合うので、トルク精度も確保されます。

KTD-A150F-90



KTD-A150V



外観例 (KTD-A150\*)

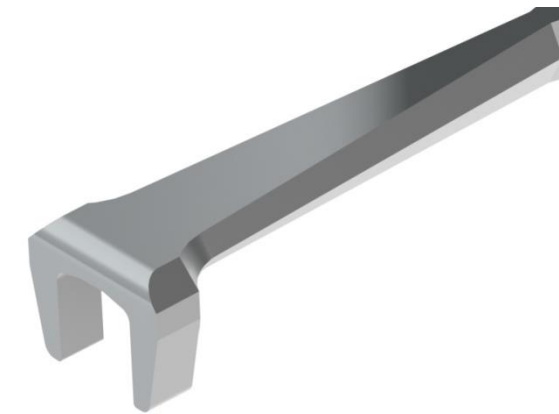
型番	機能	トルク (精度±3%)	全長	質量
KTD-A150F-56	トルク固定タイプ	5lb-in : 56cNm	220mm	約100g
KTD-A150F-90	トルク固定タイプ	8lb-in : 90cNm	235mm	約150g
<b>KTD-A150V</b>	<b>トルク可変タイプ</b>	<b>20~120cNm</b>	258mm	約180g
KTD-A100F-56	トルク固定タイプ	5lb-in : 56cNm	170mm	約100g
KTD-A100F-90	トルク固定タイプ	8lb-in : 90cNm	185mm	約150g
<b>KTD-A100V</b>	<b>トルク可変タイプ</b>	<b>20~120cNm</b>	208mm	約180g

※一部の低ロスケーブルやゴムスリーブのあるケーブルなど、φ5.5mmよりも太い部分があるとAシリーズは使用できません。そのような場合にはMシリーズをご検討ください。

### 仕様 Mシリーズ

コネクタのナット部よりも太い部分（スリーブなど）があるケーブルにも使用できます。  
 グリップ部との中心ズレが発生するので、使用時のトルク精度はAシリーズに劣りますが、斜めからもアクセスできるので「とにかく狭い場所で、大体の精度でOK」という場所で威力を発揮します。  
 スリムスパナ型のMS100はメガネ型（Aシリーズ）と同様、11mmの狭ピッチで使えます。

KTD-M150

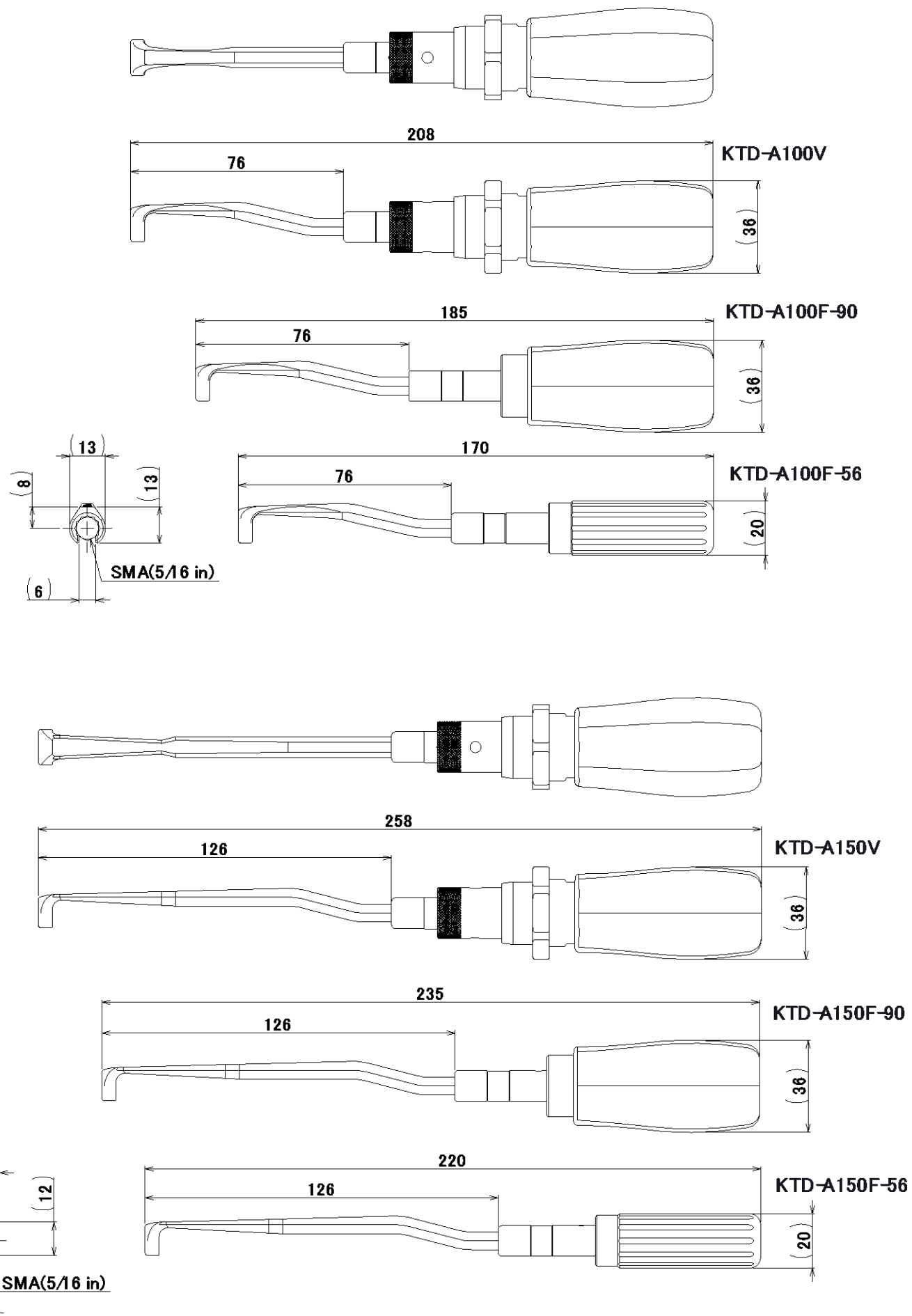


KTD-MS100

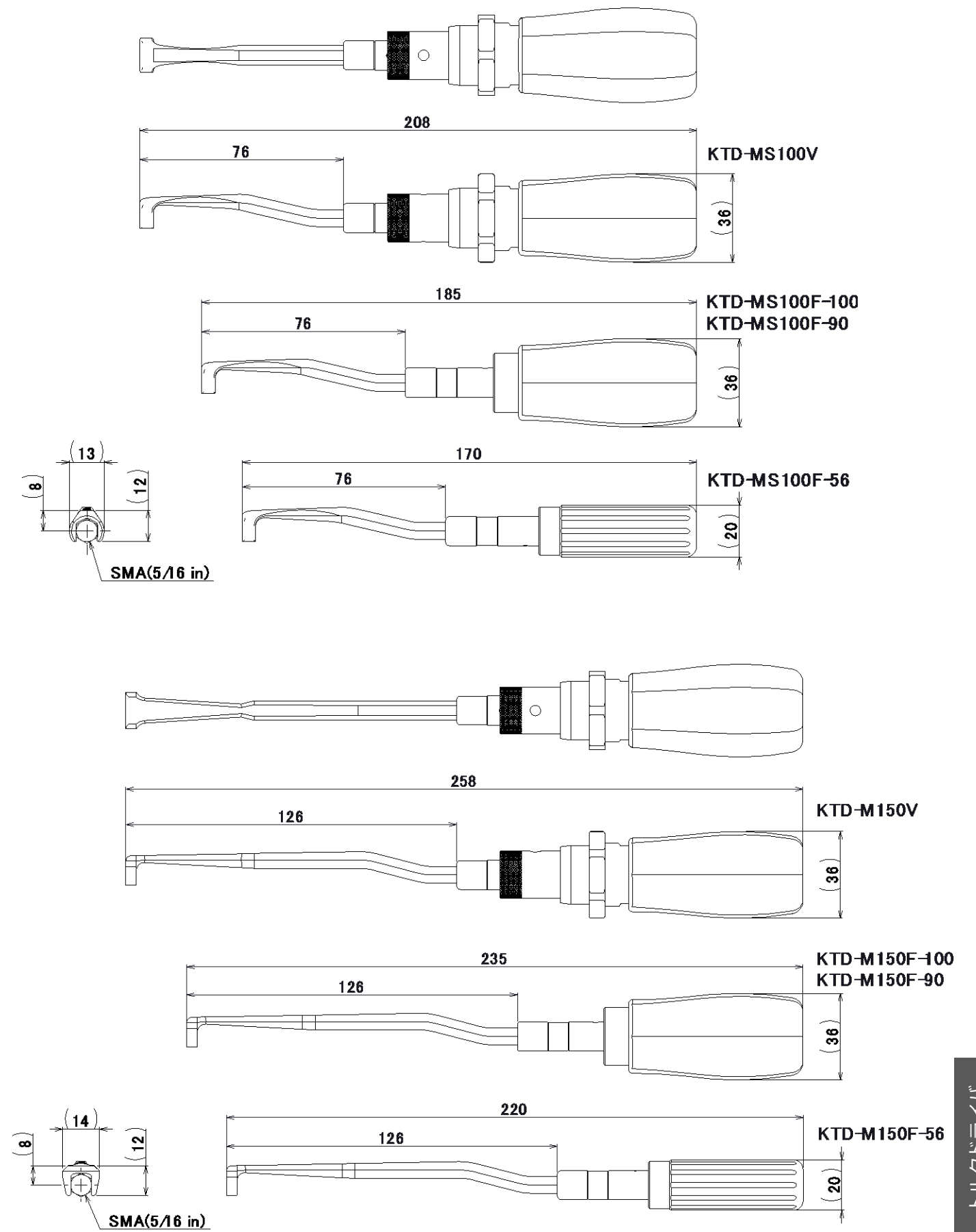


型番	機能	トルク (精度±3%)	全長	質量
KTD-MS100F-56	トルク固定タイプ	5 lb-in : 56 cNm	170mm	約100g
KTD-MS100F-90	トルク固定タイプ	8 lb-in : 90 cNm	185mm	約150g
KTD-MS100F-100	トルク固定タイプ	100 cNm	185mm	約150g
<b>KTD-MS100V</b>	<b>トルク可変タイプ</b>	<b>20~120 cNm</b>	208mm	約180g
KTD-M150F-56	トルク固定タイプ	5 lb-in : 56 cNm	220mm	約100g
KTD-M150F-90	トルク固定タイプ	8 lb-in : 90 cNm	235mm	約150g
KTD-M150F-100	トルク固定タイプ	100 cNm	235mm	約150g
<b>KTD-M150V</b>	<b>トルク可変タイプ</b>	<b>20~120 cNm</b>	258mm	約180g

寸法図 Aシリーズ



寸法図 Mシリーズ



# TNCコネクタ用トルクドライバ

無線通信や衛星通信に使われるTNCコネクタ用をラインナップ



KTD-D100F-130



KTD-D100V-260

## 特長

- TNCコネクタのトルク管理が可能
  - ・ 二面幅14mmのタイプのTNCコネクタに使用可能
  - ・ SMAコネクタ用と同様に、トルク固定タイプとトルク可変タイプをラインナップ
  - ・ コネクタ抜け防止構造



## 仕様 Dシリーズ

型式	機能	トルク (精度±3%)	全長	質量
KTD-D100F-130	トルク固定タイプ	130cNm	186mm	約220g
KTD-D100V-260	トルク可変タイプ	60~260cNm	225mm	約300g

- ・ トルク可変タイプのトルク値は、SMAコネクタ用トルクドライバと同様にご自身で調整可能です。
- ・ Dシリーズのトルク可変タイプには、プリセットフックスパナを付属します。トルク調整時にスパナ用穴へ差し込むと、トルク調整が容易になります。

 プリセットフックスパナ



## 寸法図 Dシリーズ

